

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
I. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	基本理念の項目に、家族との連携及び地域との交流を目指す旨の理念を掲げている。	○	家族会の創設や、地域のサークル活動参加が実現できるように自治会長及び家族へ協力の依頼中です。
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎朝行われている申し送り時にスタッフ全員で復唱することにより、理念の再確認を行っている。また、毎月行われているケア会議や日々の業務等にて実現に対する意見交換を行っている。		
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	ご利用者家族様には今回初めて広報誌を配布致し、その中に施設の理念を掲載致しましたが、地域の方々に対しては現在取組中です。	○	今回始めて施設の理念を掲載した広報誌の発行を開始し、ご家族様へ配布致しました。段階的ではありますが、公民館や近隣の方々にも配布出来る様に働きかけをしている状況です。
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	施設の目の前に施設の畑が有り、隣の畑の近所の方々に指導をして頂いたり、散歩時などに気軽に挨拶や話がけを心がけております。また、施設の行事などにもご招待の声がけを行っております。	○	施設行事等の地域の方々の参加がまだ少ない感じが、出来るだけ多くの方々や、地域の子供たちにも参加が出来る機会作りをスタッフ一同で検討中です。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	毎年に行われる自治会の敬老会への参加や、地域の中学校の生徒さんによる職場体験などの受け入れなどを積極的に取り入れ地域の方々との交流に努めている。		地域のサークル活動への参加や、清掃活動などへも積極的に取り組めるように、現在自治会長へお願いをしています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	○	市職員等へ開催の協力お願いをしておりますが、まだ実現しておりません。更に地域の公民館や、自治会長・民生委員さんに協力をお願いをする予定です、また、施設での開催も検討中です。
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>		
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>		
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>		
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	○	実際にご利用されている入居者もいるので、早急に勉強会を設け職員全員に権利擁護・成年後見人制度に対し把握してもらう。
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
4. 理念を実践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時毎に重要事項説明書や入居契約書等の書類を使用しながら十分に説明をし、納得して頂けるように努めている。また、解約時にも十分な話し合いの時間を持って、解約後も不安なく生活が送れるように支援している。		
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関入り口に意見箱の設置や相談窓口紹介のポスターの掲示、重要事項への記載、その他にスタッフと入居者様で会議を開き意見交流をして改善に努めている。		
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	利用者個人の情報に対しては毎月、御家族様へお手紙方式にてお知らせを開始致しました。	○	ホームページの開設及び広報誌発行などを現在進めております。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情相談等に関しては、文章により明確に提示し玄関入り口には意見箱を設置してます。苦情が寄せられた場合は全職員にて速やかに対策案の検討を行っているが、外部者との話し合いの場は現在設けていない。	○	介護相談員の協力依頼や家族会の創設等を検討し、外部の声を常に取り入れて質の向上に努めていきたい。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月のケア会議等の他、日々の業務の中でも常に職員が意見や提案を言える様な環境作りに配慮しており、意見や提案が出た際には共に検討し反映している。		
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	行事や状況に合わせての勤務調整を柔軟に行っている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>		
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	○	研修以外にも他施設見学等を予定し、協力施設の運営者に打診中です。
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	○	地域の同業施設職員と共に現在抱えている問題を考えたり、事例検討等の機会作りをしてお互いの質の向上に繋げられるように取り組んでいきたい。
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>		
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	相談時よりその方のペースに合わせる様な会話作りを心がけ、職員側の声のトーンや座り位置等にも配慮しながら、ご本人の訴えに対し受容的な気持ちで受け止める事が出来るように対応している。	
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	相談時より、ご家族の訴えに対し受容的な態度で臨むことに努め、時には同調し又は今までの介護に対し労わりの言葉を掛ける様に心がけており、ご家族の話しやすい雰囲気作りに配慮している。	
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談時にはまずご本人や、ご家族の希望や相談に至るまでの状況をお話して頂き、心身の状況や家庭環境等、ご家族と本人の関係等を良く考慮し、「その時」の必要なサービスが当施設なのか？他サービスなのか？を話し合い、対応に努めている。	○
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	すぐにサービスを開始するのではなく、入居前の面会や、御家族相談時、又は居宅のケアマネさんなどに今までのライフスタイルや心身の状況、性格などを細かく伺い、当初はそれらを踏まえて対応させて頂きながら状況に応じ対応策の検討やアセスメントを行い、ケアプラン作成しサービスを開始する様に努めている。	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	家庭的な雰囲気作りに心がけており、日常生活の色々な場面で人生の先輩としての意見やアドバイスを頂いたり、昔話を聞かせて頂きながら共に支えあい、生活を送っている。	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	御家族様には今までの本人との関係や、入所に至ったまでの経緯を聞き出し、受容的な態度で接し時には労いの言葉かけを掛けるように心がけて、共に本人を支えていくための話し合いを行って、御家族参加の下で支援できるように努めている。		
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	利用者個々の生活歴や性格、家族との関係を踏まえ対応している。家庭的な雰囲気を大事にしており、利用者のご自宅へ遊びに来るような感覚作りに努めております。新たな試みとして、日々の様子や新たに発見出来たこと等を毎月お手紙にて報告し、常に身近に感じて頂けるように支援しております。		
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	大切な人や場所との関係が途切れる事の無いように、家族や関係する場所への連絡調整などを行い、外出の介助や馴染みの方々に面会に来て頂けるように支援している。		
31 ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者同士の関係を常に把握できるように見守り、孤立しがちな入居者の方には、レクや散歩、クラブ活動等に声かけを行い、他の入居者さんとの交流の機会作りを行っている。また、その時には世話役の入居者さんをお願いをしてご協力をして頂いております。		
32 ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	必要として下さる御家族や利用者様には、少しの不安や疑問でも気軽に電話相談や訪問相談をしてきて下さる様に声かけと、又は施設側から連絡をさせて頂いたりと対応している		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の生活は入居者本位心がけており、職員はそのリズムに合わせて支援を提供しております。また、状況判断が困難な入居者がいる場合は、方向性をさりげなく促していくように支援しております。	
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	相談時や入所時等に、個々の生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用等をご家族や関係者、ご本人よりお聞きして把握に努め、また入所後も、会話の端々で知り得た情報を聞き逃さずに記録及び他の職員に報告し、共通理解に心がけている。	
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	個々の生活リズムや心身状態の把握には、日々の行動パターンの観察や医師・ご本人やご家族様に確認し把握に努めている。またその方の力をどうすれば発揮できるのか？その都度現状をよく見極めながら検討し、自然な形で発揮できるような支援に努めている。	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ケア計画を作成するにあたり、本人や必要な関係者から頂けた意見やアイデア等を、職員及び計画作成担当者はそれらが反映できるように検討し作成している。	
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	6月からケアマネージャーの変更があり、全員のケアプランの見直しを行っており、本人・必要な関係者・出来る限りご家族様の意見を取り入れたり、本人の現在の心身状況に合わせた計画作成を行っている。	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39	<p>○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40	<p>○地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p>		
41	<p>○他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p>		
42	<p>○地域包括支援センターとの協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>		
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	○	<p>運営者・管理者だけではなく、全職員や御家族様に「重度化やターミナル」に対しての方針を説明し、同意を得て行きたい。</p>
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	○	<p>今後はいつその様な場面に遭遇するか分からないので、その時になって本人や家族が不安にならないようにターミナルに対する準備・検討を職員全員と行って行きたい。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>入退去前後には、入退去者のダメージを最小限防止する為に、家族等はもちろん、本人に係わる保健医療福祉関係者と十分に情報交換と話し合いを行っており、対応を検討しております。</p>	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>記録等の個人情報取扱には、十分な注意をはらい取扱っておりますが、言葉かけの際に「・・・ちゃん」付けで呼んでいる時が有り。</p>	<p>○</p> <p>人生の先輩である事を踏まえ、「・・・様」もしくは「・・・さん」と呼ぶように職員同士注意をしていく。</p>
51	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>利用者様のその時の気持ちを考え、一人一人に合った声かけやスキンシップを心がけている。</p>	
52	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>利用者様の声、意見等を大切にしています。その日の希望があれば出来る限り実現する様支援しています。</p>	<p>○</p> <p>認知症という病気になっただけで、制限や制約を強制する事は、長年築いて来られた習慣、当たり前を崩すこととなりますので、時折、利用者と一緒にミーティングを行っております。</p>
53	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>お洒落クラブを行っております。身だしなみや、ちょっとした化粧等を本人と一緒にしております。理美容は出張サービスを利用しております。</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員と利用者が一緒に食事を取っています。 職員の座る位置は、サポートの必要性を考えています。 		
55	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p> <p>飲み物やおやつ、たばこ等は本人の希望する者を医師との相談の元支援しておりますが、お酒に関してはドクターストップやご希望が無い為に行っていない。</p>		時折、料理クラブにて利用者様の食べたいものを伺って作っております。
56	<p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p> <p>失敗をしても非難せず、その都度処理を行ったり、排泄パターンを確認しさりげなく誘導を行っております。</p>		トイレの位置を明確にするために、見やすい場所に張り紙をしております。
57	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p> <p>決められている曜日もありますが、利用者様の希望がある時にはその都度対応しています。夜間時入浴は夜勤者の人数の問題もあり、現在の状況では困難である</p>		
58	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p> <p>一人ひとりの生活習慣の重視及び体調に配慮しながら、お疲れのご様子なら声かけをして自室まで誘導を促したりと、安心・快の休息や睡眠の支援を行っている。また、裏庭や廊下などに椅子を置いてあります。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p> <p>役割作りや楽しみ毎として、掃除や、テーブル拭き、花への水まき、洗濯物たたみをお手伝いを頂いております。</p>		出来る事・出来ない事や、職歴及び生活歴・趣味等を考慮し役割作りを行っている。書道や手芸・お菓子作りクラブを開催している。


項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者様の状況に合わせてですが、衣類を一緒に買いに行ったり、銀行に行って本人がお金の出し入れをされています。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	買い物や散歩等、希望に沿って行われているが、一部の入居者の方々からは外出に対する拒否もあり全入居者への支援には至っていない。	○	ご本人の希望を尊重するのが大切なことだが、それにより引きこもりになる恐れが考えられるので、入居者さんが興味を持てるような外出支援を考えていきたい。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	普段いけない所へ他入居者さん達と出掛けたり、個々の希望が有れば状況等を考慮しお連れしたりと支援をしている。	○	季節毎の行事をもう少し増やして機会作りをしたい。
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	各ユニットに子機を、事務所前には公衆電話を配置しており、自由に電話が出来るようになっている。また手紙などのやり取りも自由に行っており、自身で行えない方には、電話の代行や手紙の代筆の支援も行っている。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会時間は特に設けておりませんので、御家族様が来所された時にはいつでも笑顔で迎えます。また、訪問時には一緒に御茶を飲んで頂いたり、手芸等をしたり自然な形で雰囲気作りをしています。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束は行っていない。また、昨年施行の「高齢者虐待防止法」についての勉強会を開催し、職員全員に身体拘束の重大さが浸透している。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>		
67	<p>○利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>		
68	<p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>		
69	<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>	○	記録の徹底が不十分な所もあり、ヒヤリハット報告書は書いているが、そのことに対しての検討がされていないので、再発事故防止の為に検討及びケア対策を徹底したい。
70	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>	○	救急救命指導の要請を検討中。
71	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	○	運営者は防火管理者研修を受講予定しており、終了次第に災害時の非難マニュアル作成及び防災訓練を予定している。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	入所時や状況の変化に対してはその都度ご家族に説明し、リスク対応策について話し合い、ご家族のご希望も取り入れた対応策を行っている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	定期的に行うバイタルチェック他、体調の変化などを感じたときには随時行うようにし、早期発見に努めている。	○	体調の変化や異常が見られた場合の記録が不十分な所も感じたので、全職員で徹底をしていく。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者様各自の薬台帳を作成しており、職員が常に確認できるようにしている。また、体調に変化が有る時には看護師に相談しています。		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	予防策として毎日の水分量には注意しております。また、日常的なお手伝い等をして頂き、身体を動かす様に支援しております。下剤を服用されている方は、状態により使用量の注意を行っています。	○	便秘予防の体操等を勉強し、少しでも内服に頼らなくても便秘を解消出来るように支援していきたい。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後の口腔ケアは、毎日の目標としています。自立されている方が多いので、職員の声かけにて毎食後実施されております。どうしても拒否をされる方には、促してその時はうがいでだけでもして頂いております。		
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	地域の栄養士の方に協力をして頂きながら、カロリー計算を行い入居者個々の栄養バランスに勤めている。水分量に関しては、入浴後や外出後、毎食時やお茶の時間や、その他希望があった時に摂取出来る様に配慮してます、食事は毎回チェックして記録しています		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	事業所独自の感染症対策マニュアルを作成しており、実行している。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食材は鮮度を重視し、余り買い置きをしない様に配慮している。また、フキンやタオルに関しては毎日の漂白剤消毒、食器や調理器具に関しては食器乾燥機を使用し衛生管理に努めている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	自宅に代わる自分の家と思って貰える様、家庭的な雰囲気作りをしています。玄関周りに花、屋内には観葉植物を置き、利用者様と共に水やりや手入れ等を行っています。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ブラインドやカーテンを利用し遮光などを行い、職員の会話の声も落ち着いており、全体的にゆったりとしている。食堂フロアに利用者様と共に作った作品や、植木を置いている。	○	利用者様にとって安心感の有る場所、そして、ほっと安らげる様な家庭的な場所作りに更に励みたい。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	玄関前にソファを置いたり、ユニットとユニットの間に椅子、テーブル、テレビ、本等を設置したりして思い思いの場所で過ごされている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		
84	<p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>		
86	<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>		
87	<p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>		

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
項 目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働いている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)